

令和2年度池田市立図書館の運営に関する評価

令和3年12月

1 はじめに

池田市立図書館では、平成20年の図書館法改正と「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（平成24年文科省告示）により、図書館評価の実施が努力義務になったことを踏まえ、令和2年度事業を対象に図書館評価を行い、その結果を通して、今後の図書館運営の改善等につなげ、より良い図書館サービスをめざしてまいります。

2 評価の方法

(1) 自己評価

- ・評価項目は、基本的な利用に関する項目と「池田市立図書館運営基準」に基づく施策に関する項目で設定し、自己評価を行います。
- ・数値評価は目標値を対前年度比増に設定します。

(2) 外部評価

図書館協議会において、当該年度の活動実績と自己評価について報告するとともに協議会委員の意見をいただき、評価を実施します。

3 評価の基準

- A 計画どおり実施し、一定の成果があった。
- B 概ね計画どおりだが、課題が残った。
- C 計画に遅延があるなど不十分な点や課題が多かった。

(1) 基本的な利用に関する評価について

(年度末比較)

指標	令和2年度	令和元年度	達成状況	図書館評価	図書館協議会評価
年間来館者数	381,107人	564,219人	183,112人減	C	C
年間貸出人数	223,311人	278,266人	54,955人減	C	C
年間貸出冊数	630,278冊	766,721冊	136,443冊減	C	C
有効登録者数※	21,615人	20,007人	1,608人増	A	A

※個人利用者数

●自己評価説明

新型コロナウイルスの感染拡大が利用に大きく影響しており、年度当初より5月12日までは、緊急事態宣言を受けて臨時休館となった。5月13日より予約資料の受け渡しから始め、開館時間等の縮小期間を経て、徐々にサービスの拡大を行ったが、年度末まで、30分の時間制限、座席の縮小、視聴覚資料の視聴制限については解除できないまま年度を終了することとなった。

前年度と比較したところ、両館合わせて来館者数は32.5%、貸出冊数は17.8%、貸出人数は19.7%減少したが、有効登録者数は増加しており、本館移転後の新規登録者が継続して利用していることが窺える。

新型コロナウイルス感染症の影響は今後も続くと考えられることから、図書館からの支援として、館内の滞在時間を短縮するための展示やブックリストの作成、図書館ホームページでの情報発信に重点的に取り組んでいきたい。

●図書館協議会の意見

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館等による利用数の減少は仕方なく、次年度以降の利用増を期待する。
- ・ インターネット予約の年齢制限がなくなったことを更にPRして図書館の利用促進に努めてもらいたい。

●結果の分析及び改善策

- ・ 新型コロナウイルス感染防止対策として、館内の滞在時間を短縮できるよう、展示やブックリストの配布に重点的に取り組む。
- ・ インターネット予約の利用方法や年齢制限の廃止について更にPRするとともに、令和4年度の新石橋図書館開館に向けて整備する自動返却機・予約棚システムを活用し、利用者のプライバシー保護や貸出業務の効率化、新型コロナウイルスの感染防止対策に取り組む。

(2) 「池田市立図書館運営基準」に基づく施策評価

① 多様な資料・情報の収集、整理、保存に努め、市民の読書活動を推進します。

※●は令和2年度重点目標

目 標	「池田市立図書館収集方針」に基づいた資料の収集			
具体的取組み	選書委員会の実施による適正な資料の収集、保存を行う			
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・蔵書数 401,500 冊（前年 400,106 冊） 寄贈書を活用し、蔵書の充実に努めた。 ●新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館中に本館の分類配置を見直し、一般書コーナーを拡大することで開架冊数の増加を図った。本館開架冊数 131,122 冊（前年 120,393 冊） ・臨時休館中に、旧本館の蔵書を整理し、破損及び不適時等の蔵書について除籍処理を行った。（除籍資料数 13,886 点） ・蔵書数は、前年度から 1,394 冊増加し、市民 1 人あたりの蔵書数は、前年度同様 3.9 冊となった。 			
評 価	図書館	A	図書館協議会	A

目 標	郷土資料・行政資料の充実			
具体的取組み	本館、石橋プラザ、それぞれの特性を活かした郷土資料や行政資料の充実、整理に努める			
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土資料冊数 10,782 冊（前年 10,577 冊） 前年度から 205 冊増加した。また、令和3年度から市内小中学校で使用する教科書の受入れ、配架を行った。 ・数の多い池田市議会に関する資料を、会期ごとにラベルで色分けして探しやすくなるよう整理した。 			
評 価	図書館	A	図書館協議会	A

目 標	新石橋図書館開設に向けての蔵書移設準備			
具体的取組み	●令和4年度の石橋新図書館開館に向けて、計画的に蔵書の移設を行う。			

取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館期間に旧本館の蔵書を整理し、新石橋図書館へ移設する準備を開始した。 ・新石橋図書館の書架レイアウトに基づき、一般書、児童書の配置等を検討した。 			
評価	図書館	A	図書館協議会	A

◆図書館協議会の意見

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館を有効活用して、蔵書の整理や新石橋図書館への移転準備に積極的に取り組まれている。
- ・ 新石橋図書館の蔵書の充実と市民にとって利用しやすい棚づくりに期待する。

◆結果の分析及び改善策

- ・ 新石橋図書館は、ダイバーシティセンターや子育て支援拠点との複合施設内に設置されることから、関連した資料の収集やコーナー作りに努める。
- ・ 新石橋図書館の開館準備として図書費を増額し、蔵書の充実に努める。
- ・ 寄贈書を活用して開架資料の増冊に努めるとともに、除籍基準に基づき適正な管理を実施する。

② 市民が必要とする資料や情報を提供することにより、「地域の情報拠点」として課題解決に役立つ図書館をめざします。

※●は令和2年度重点目標

目 標	レファレンスサービスの充実			
具体的取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンス用図書・資料の充実 ・レファレンス担当職員の能力向上 			
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンス事例を、自館システム及びレファレンス協同データベースへ登録した。(自館システム登録 91 件、レファレンス協同データベース 2 件) ・各種データベース(聞蔵・ジャパンナレッジ・日経テレコン・国立国会図書館デジタル化資料送信サービス)をポスターや図書館ホームページで紹介し、利用促進に努めた。(利用件数 216 件 印刷枚数 960 枚) ・レファレンス件数 564 件(前年 272 件) <p>令和元年度は本館の移転による利用増により、新規登録や簡単な蔵書検索に追われ、レファレンス業務としての件数に挙げられず処理件数が少なかったが、今年度は重点的に取り組んだ結果、前年の倍の件数結果となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レファレンス関連の職員研修には 2 名(前年 7 名)が参加し、能力向上に努めた。 			
評価	図書館	B	図書館協議会	A

目 標	子育て支援サービスの充実			
具体的取組み	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て支援コーナーの整備 関連書や市内の子育て情報をまとめて提供する ●「子育てのちょっといい話」の開催 			
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・キッズコーナーの外周書架の資料配置を見直し、乳幼児の利用に危険がないよう、落下防止対策を講じた。 ・市内の施設案内や市の子育て情報等を分類し、テーマごとに見出しをつけて手に取りやすいよう工夫した。 ・本館では、施設内の歯科医院と連携し、子どもの歯に関する講座を毎月開催する予定だったが、新型コロナウイルスの影響により、開催回数は1回となった。(1回 2人) ・新型コロナウイルス感染防止対策により、キッズコーナーの利用を制限し、絵本を取れるように配慮した感染防止策を講じた。 ・昨年度に引き続き「子育てのちょっといい話」を実施し、乳幼児向けのおはなし会などの後に、保健師や栄養士等に子育てに役立つお話や質問に答えてもらうなど、保護者の身近な疑問を解決に導けるよう情報提供に努めた。石橋プラザのみ実施。2回(前年4回) ・市の子育て世代包括支援センター「にじいろ」担当者による子育て相談を、引き続き今年度も実施した。石橋プラザのみ実施 4回(前年10回) ・乳幼児向けブックリストを作成し、配布した。(本館2冊、プラザ1冊) 			
評 価	図書館	B	図書館協議会	B

目 標	課題解決サービスの充実			
具体的取組み	<ul style="list-style-type: none"> ●各種データベースの活用 ●「暮らしに役立つ情報講座」の開催 ・健康講座などの実施 			
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・「暮らしに役立つ情報講座」や「健康講座」については新型コロナウイルス感染拡大防止のため未開催となり、次年度以降に実施予定で調整した。 ・新型コロナウイルス感染症関連の資料を集めたコーナーを医療情報コーナー内に新設し、最新の新聞記事等を展示するとともに、図書館ホームページでブックリストを公開し、情報提供に努めた。 ・認知症コーナーを整備し、図書館ホームページで紹介するページを掲載した。 ・市民からの問い合わせが多いテーマである「池田市の地図」「新聞の調べ方」の2テーマについて調べ方案内を作成し、配布した。 			
評 価	図書館	B	図書館協議会	B

目 標	ホームページやSNSの活用			
具体的取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館から、行事やおすすめ資料などの情報を積極的に発信する。 ・インターネット予約を促進する。 			

取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> インターネット予約件数 92,811 件（前年 89,449 件） 前年度と比較するとインターネットでの予約は 3,362 件増加したが、カウンター予約を含めた予約全件数は 128,734 件となり、前年度より 5,399 件減少した。新型コロナウイルスによる予約本の受け渡しのためのサービス期間があったことから、自宅からインターネットで予約した資料を借りる利用者が多かったことが窺える。 インターネット用パスワードの発行年齢制限をなくし、インターネットでの予約や貸出延長の利用促進を図った。 図書館ホームページでの各種案内利用件数 1,319,168 件（前年度 954,840 件） 新型コロナウイルスコーナーと認知症コーナーの案内ページを作成、公開するとともに、医療情報のブックリストを更新した。 新型コロナウイルスの感染拡大防止のための臨時休館のお知らせなど、日々変化する状況に応じた対策をホームページやツイッターで案内し、利用者への周知に努めた。 			
評価	図書館	A	図書館協議会	A

目標	広域利用・相互貸借の促進			
具体的取組み	<ul style="list-style-type: none"> 7市3町広域利用及び川西市との相互利用の促進 相互貸借の活用 			
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 広域利用は平成 29 年 7 月より 3 市 2 町から 7 市 3 町に拡大実施。 登録者 1,293 人（前年 1,113 人） 利用数 池田市→他市町住民 2,755 人 7,098 冊（前年 3,399 人 8,580 冊） 他市町→池田市民 7,703 人 25,916 冊（前年 11,070 人 36,002 冊） 登録者数は増加したが、新型コロナウイルスの影響により、貸出人数、貸出冊数ともに減少傾向となった。 川西市との相互利用 登録者 890 人（前年 753 人） 利用数 池田市→川西市民 2,008 人、4,929 冊（前年 2,353 人、5,354 冊） 川西市→池田市民 2,584 人、7,065 冊（前年 4,290 人、11,793 冊） 登録者数は増加したが、新型コロナウイルスの影響により、貸出人数、貸出冊数ともに減少傾向となった。 相互貸借数 借受 2,514 冊（前年 2,852 冊） 貸出 815 冊（前年 814 冊） 新型コロナウイルスによる臨時休館の影響で他館からの借受けは 339 件の減少となったが、貸出しは前年とほぼ同数となった。 			
評価	図書館	B	図書館協議会	B

◆図書館協議会の意見

- 本館の多目的室には窓がなく、コロナ禍での行事開催が難しいが、新石橋図書館は換気設備に配慮して設置してもらいたい。
- 近年豪雨災害なども増えたことでハザードマップの需要が高まっている。図書館内のわかりやすい場所に配置してもらいたい。

- ・ インターネットでのサービスに力を入れているのは便利になってよいと思うが、インターネットが使えない人へのサービスも充実してもらいたい。
- ・ レファレンスに関して研修参加人数が減少したことでBとなっているが、レファレンス自体は重点的に取り組み、前年度より充実した内容になっていたのでないかと思うので協議会の評価はAとする。
- ・ 新型コロナウイルス関連コーナーのホームページとリンク集を閲覧したが、とても便利で役立つコーナーになっていた。

◆結果の分析及び改善策

- ・ インターネットを使えない市民が新刊本の情報を入手できるよう、引き続き新着リストを発行する。
- ・ 郷土資料コーナーの市内ハザードマップ設置棚の見出しを工夫するとともに、季節展示等で災害についての資料を市民に紹介する機会を設ける。
- ・ データベースの利用促進に向けて、図書館ニュースやホームページでの案内を強化する。
- ・ インターネット予約の利用方法を更にPRし、利用者の利便性向上と業務の効率化を図る。

③ 子どもたちの豊かな「学び」を応援し、学校、家庭、地域等と連携して子ども読書活動の推進を図ります。

※●は令和元年度重点目標

目 標	子どもへの読書機会の提供			
具体的取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童書の充実 ・ おはなし会の開催 ・ 季節の展示等の実施 			
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童書冊数 131,229 冊 (前年 133,707 冊) 書庫の児童書を整理し、破損及び不適時等の蔵書を除籍した結果、2,478 冊の減少となったが、開架冊数は 53,534 冊 (前年 51,584 冊) となり、1,950 冊の増加となった。 ・ おはなし会実施回数 20 回 220 人 (前年 69 回 1,592 人) 新型コロナウイルスの感染防止策として、人数を制限し、予約制で開催した。1 1 月より再開したが、1 2 月中旬より感染拡大のため中止となった。石橋プラザは窓があり換気がしやすいが、本館は窓がなく、天井が低い等の制限があることから、特に感染防止対策に注意が必要となった。 ・ 短い滞在時間で本を選ぶ手助けとなるよう、各種展示を実施した。(本館 22 回) ・ 年末年始に「おたのしみ福袋」と題して、図書館司書がおすすめる本を年齢別にテーマをそえて袋詰めにして貸出し、新たな本と出会う機会を提供した。 			
評 価	図書館	B	図書館協議会	B

目 標	調べ案内・ブックリストの作成
-----	----------------

具体的取組み	子どもが調べたい内容や借りたい資料を容易に探せる工夫をする。			
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ方案内については、今年度は大人向けを作成したことから、キッズ版は次年度に作成することとなった。 ・テーマごとに読みたい本が探せるようブックリストを発行し、配布した。(本館2冊、プラザ1冊) 			
評価	図書館	B	図書館協議会	A

目標	ヤングアダルトサービスの充実			
具体的取組み	<ul style="list-style-type: none"> ●10'sコーナーの活性化 ・10'sコーナー通信の発行 ・ブックリストの配布 			
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスでの臨時休館中に書架の配置を見直し、展示棚と10's(ティーンズ)情報コーナーを設置した。 ・10's情報コーナーでは、10代向けのチラシやブックリスト、パンフレット等を並べて配布した。 ・10'sコーナーが児童コーナーの奥まった場所にあることから、遠くからでも棚の並びが分かるように、書架の上にサインを追加するとともに、見出しのデザインもオリジナルキャラクターを使用した、親しみやすい表示に変更した。 ・ホームページのリニューアルに引き続き取り組み、テーマ展示や課題図書ブックリストを公開した。 			
評価	図書館	B	図書館協議会	B

目標	学校図書館との連携促進			
具体的取組み	学校司書と連携し、調べ学習用資料などを提供する。			
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・FAXを使用して学校司書からのレファレンスや調べ学習用の資料収集を行った。また、授業で使用する資料や生徒からの予約本は庁内連絡便で配送するなど、迅速な対応に努めた。 ・学校図書館教育研修会を図書館で開催し、学校司書のニーズの把握及び資料提供に役立てた。 ・年4回実施している学校への団体貸出用の配本が今年度は2回の実施となった。 ・前年同様、図書館の除籍資料の中から活用できる資料を学校司書に選択してもらい、学校図書館での有効活用を図った。 			
評価	図書館	B	図書館協議会	B

目 標	団体貸出しの拡充			
具体的取組み	学校や文庫、地域コミュニティなどの団体貸出しを実施			
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・団体貸出冊数 23 団体 36,038 冊（前年 23 団体 36,573 冊） 新型コロナウイルスの影響により、通常は年 4 回ある学校配本が 2 回となったことや、文庫等への貸出しも臨時休館のため実施出来なかったことから、貸出冊数が減少した。			
評 価	図書館	C	図書館協議会	B

目 標	見学や職場体験の受入れ			
具体的取組み	小学校の見学や中学校の体験学習の受入れを実施			
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、学校見学及び体験学習は中止となった。 次年度以降は、新型コロナウイルスの感染が収束しない場合を視野に入れて、実施内容等を検討する。職場体験については、主に市内中学校 2 年生の職場体験を受け入れている。有意義な体験となるよう対応可能な受入れ人数を 2 名までと限定して実施しており、今後も学校と連携し、実施する場合は、感染防止対策を講じて実施方法を検討したい。			
評 価	図書館	C	図書館協議会	C

◆図書館協議会の意見

- ・ 団体貸出しの項目については、コロナの影響で学校配本の回数は半分には減少しているが、貸出冊数は前年度とほぼ同じ水準となっているので、協議会の評価は B とする。
- ・ 調べ案内・ブックリストの項目については、ブックリストの作成がある点と調べ案内についても一般向けで作成があり、児童向けが次年度作成予定という点から、協議会の評価は A とする。
- ・ 「おたのしみ福袋」の企画は、新たな本との出会う機会ができる、とても良い企画である。今後も読書活動推進につながる新しい企画提案に期待する。

◆結果の分析及び改善策

- ・ コロナ禍での読書活動支援として、ブックリスト作成や展示等、短時間で本を選べるよう工夫する。
- ・ ヤングアダルトサービスについては、10代にとって魅力的なホームページでの情報発信に努めるとともに、学校生活に関する資料や時事問題等、関心がある分野の資料収集に取り組む。
- ・ 図書館見学に関しては、新型コロナウイルス対策として、従来の学校から図書館に見学に来る形式ではなく、各学校へ図書館の職員が赴き、出前授業として実施する方法を検討する。また、小学3年生だけでなく、他の学年や中学校からの依頼があれば実施したい。

④ 図書館ボランティアとの協力を深めるとともに、市民同士の交流の機会・場を提供し、市民がわくわくしながら集い、出会う、楽しい図書館をめざします。

※●は令和元年度重点目標

目 標	ボランティアとの協働事業の実施			
具体的取組み	図書館ボランティアとの連携をさらに強化する。			
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 例年実施している「図書館まつり」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため未開催となった。 ・ 年間ボランティア参加人数 684人（前年1,919人） 図書館行事に関しては、新型コロナウイルスの影響によりほとんど開催出来なかったことから、参加人数は減少したが、書架整理ボランティアやボランティア団体の研修等は、緊急事態宣言発令時以外は感染防止対策を講じて活動を実施した。			
評 価	図書館	B	図書館協議会	B

目 標	各種行事の開催
具体的取組み	<ul style="list-style-type: none"> ●様々な年齢及び対象に応じた行事を他機関等と連携して開催し、図書館の活性化に努めるとともに、市民同士が交流できる機会を提供する ・ 市民グループ等の学習、発表の機会、場を提供する。

取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・五月山児童文化センターと連携した行事を11月に開催予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止となった。引き続き次年度に開催する予定で調整した。 ・施設内の歯科クリニックと連携した行事「歯医者さんの子育て応援講座」（本館1回、2人） ・ソフトバンク株式会社との包括連携協定に基づいた連携行事「スマートフォン体験講座」（石橋プラザ 2回 17人） ・行事開催については、申込制による人数制限や換気、座席の間隔を広くする等の感染防止対策を講じて開催した。 			
評価	図書館	B	図書館協議会	B

目標	図書館協議会の充実			
具体的取組み	多様化する図書館へのニーズに対応するため、図書館協議会の充実に努め、利用者サービスの向上を図る			
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・3回開催。令和元年度図書館運営評価外部評価を実施し、図書館協議会による評価を決定した。 ・石橋新図書館の進捗状況について報告・審議を実施した。 			
評価	図書館	A	図書館協議会	A

◆図書館協議会の意見

- ・新型コロナウイルスの感染防止対策を講じての実施となり、参加人数を縮小する等の制限があるため、参加者数が減少している点は仕方ないと思う。可能な範囲での開催を引き続き検討して実施してもらいたい。
- ・現在はコロナ禍で実施が不可能だが、駅前の立地は人が集まりやすい好条件であることから、今後、駅周辺の店舗や施設等と連携するなど、市民が交流できるイベントを開催してもらいたい。

◆結果の分析及び改善策

- ・行事については、新型コロナウイルスの感染防止対策をしっかりと取った上で、実施する。
- ・現在実施出来ていない各行事について、コロナ収束後に実施できるよう、連携している店舗や施設、団体と連絡を取り、計画を練っておくことが必要である

- ・ Web 会議システム等を使用して、来館せずに参加できるイベントを考案する必要がある。

⑤ 高齢・障がいなどの理由により図書館利用が困難な市民へのサービス拡充や情報提供の格差解消に努め、誰にでもやさしい図書館をめざします。

目 標	障がい者支援資料の充実			
具体的取組み	大活字本やデイジー図書等の充実を図る			
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者支援資料点数 4,325 点（前年 4,377 点） 医療分野等内容が時代に合わなくなった点字図書や、傷みが激しい録音テープ等提供不可能な資料を除籍して整理した結果、全体では 52 点減少した。 ・ 入口付近に設けた障がい者支援資料を紹介する特設コーナーに、新たにマルチメディアデイジーの一部を配架し、利用方法等の PR を実施した。（マルチメディアデイジー点数 182 点） ・ 蔵書にないものは、サピエ図書館のネットワークを活用し、デイジー図書 1,032 点を利用者に提供した。（前年 815 点） 			
評 価	図書館	A	図書館協議会	A

目 標	多言語サービスの充実			
具体的取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多言語おはなし会の開催 ・ 洋書コーナーの充実 			
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多言語おはなし会は、3 月に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となり、来年度開催の方向で国際交流センターと調整した。 ・ 洋書コーナーの蔵書増加に努めた。洋書冊数 1,348 冊（前年 1,237 冊） ・ 英語多読コーナーを本館洋書コーナー及び石橋プラザに設置した。（英語多読本 127 冊） 			
評 価	図書館	B	図書館協議会	B

目 標	図書館への来館が困難な市民へのサービス充実			
具体的取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宅配サービスの拡充 ・ 移動図書館の巡回 			

取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・宅配サービス貸出冊数 69 冊（前年 201 冊） 新型コロナウイルスの影響により、介護施設への貸出しが実施出来なかったことから、貸出冊数は減少した。 ・移動図書館利用数 1,659 人 6,522 冊（前年 2,045 人 8,002 冊） 新型コロナウイルスの臨時休館期間に伴い巡回回数が減少したことにより、年間の利用数が減少したが、昨年度に引き続き、旧本館に近い新設のアルビス五月丘の利用が 315 人、1,334 冊となり、年間最多利用ステーションとなった。 ・現在運行している移動図書館車が製造後 16 年を経過し、交換部品の供給等、安全面の確保が困難になる状況から、一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業に申請した結果補助金が交付され、令和 3 年度に移動図書館車を更新することが決定した。 			
評価	図書館	B	図書館協議会	A

◆図書館協議会の意見

- ・ 移動図書館車を新しくすることでよりサービス充実につながると期待できる。利用数は減少しているかもしれないが、移動図書館車の新規購入で新たなサービスの展開が期待できる点から、協議会の評価はAとする。
- ・ 新石橋図書館が入る施設にダイバーシティセンターが入ることから、連携した行事やコーナー作りに期待する。

◆結果の分析及び改善策

- ・ 障がい者支援資料の利用促進に向けて、マルチメディアデイジーと同様に開架にある特設コーナーに配架することで利用者に周知する。
- ・ 移動図書館車を小型化して更新し、今まで行けなかった道が狭いところや駐車スペースが狭いところなど、高齢の方や乳幼児を持つ保護者の方がより利用しやすくなるよう配慮したステーションへの運行を検討したい。
- ・ 新石橋図書館では同施設のダイバーシティセンターと連携し、多言語資料の充実に努めるとともに、多言語おはなし会等、市民が参加できる行事を実施し、市民交流の場の提供を図る。